

内科学概論(前期)

科目到達目標: 内科学の主な疾患を理解し、説明できる。

科目責任者(所属): 山本 一博 (病態情報内科学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/3(水)	1	511	循環器	山本 一博	病態情報内科学	心不全について、概論、分類、診断、治療を概説できる。	循環動態、心機能、右心不全と左心不全、急性心不全と慢性心不全、リモデリング、薬物療法、非薬物療法
2	4/10(水)	1	511	循環器	山本 一博	病態情報内科学	弁膜症について、診断、治療を概説できる。	大動脈弁狭窄・閉鎖不全、僧帽弁狭窄・閉鎖不全
3	4/17(水)	1	511	呼吸器	山口 耕平	第三内科診療科群	呼吸器感染症を理解する。	細菌感染、ウイルス感染、抗酸菌感染
4	4/24(水)	1	511	代謝	藤岡 洋平	第一内科診療科群	糖代謝、糖尿病の病態の理解。	糖代謝、糖尿病、糖尿病合併症
5	5/8(水)	1	511	呼吸器	原田 智也	第三内科診療科群	アレルギー性肺疾患を理解する。	喘息、好酸球性炎、真菌
6	5/15(水)	1	511	循環器	加藤 克	第一内科診療科群	不整脈、主な不整脈について心電図診断や治療を概説できる。	徐脈性不整脈、頻脈性不整脈、抗不整脈薬、カテーテルアブレーション、ペースメーカー、植え込み型除細動器
7	5/22(水)	1	511	呼吸器	高田 美樹	第三内科診療科群	閉塞性肺疾患を理解する。	COPD、びまん性汎細気管支炎、気管支拡張症
8	5/29(水)	1	511	循環器	渡部 友視	高次集中治療部	狭心症、心筋梗塞の病態生理、診断と治療を概説できる。	狭心症、心筋梗塞、冠危険因子、血管形成術、ステント植え込み術
9	6/5(水)	1	511	呼吸器	舟木 佳弘	第三内科診療科群	拘束性肺疾患を理解する。	呼吸機能、間質性肺炎、過敏性肺炎、塵肺
10	6/19(水)	1	511	呼吸器	阪本 智宏	第三内科診療科群	腫瘍性疾患を理解する。	肺がん、胸膜中皮腫、喫煙、気管支鏡
11	6/26(水)	1	511	循環器	小倉 一能	第一内科診療科群	遺伝子異常と心疾患を理解する。特に遺伝性不整脈・心筋症・高血圧の概説ができる。	不整脈、肥大型心筋症、拡張型心筋症
12	7/8(月)	2	511	腎臓・高血圧	久留 一郎	再生医療学	高血圧の発症機序を理解し高血圧がイラインに沿って診断および治療に関しての基本的な知識を得る。さらにレニン・アンギオテンシン系を中心に腎と高血圧との関連を理解する。	本態性高血圧、神経体液性因子、血行動態、病態生理、ガイドライン、降圧剤、副作用、腎疾患、利尿薬
13	7/4(木)	5	511	代謝	松澤 和彦	第一内科診療科群	脂質異常症、高尿酸血症、糖尿病性腎症の理解。	脂質異常症、高尿酸血症、糖尿病性腎症、代謝性腎障害
14	7/10(水)	1	511	内分泌	長田 佳子	(非常勤講師)	内分泌疾患を理解する。	視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、など
15	7/17(水)	1	511	膠原病	岡崎 亮太	第三内科診療科群	膠原病を理解する。	リウマチ、SLE、皮膚筋炎・多発筋炎、強皮症など

教育ブランドデザインとの関連: 1、2

学位授与の方針との関連: 1、3

評価: 定期試験100%(マークシート)

その他: 実際の講義では時間が限られるため、キーワードの中でも特に重要と思われる事項のみを取り上げて進める予定である。

キーワードは自ら学習する際の要点として活用してほしい。

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。